



平成30年7月27日
第14回教育委員会資料
教育部指導課

立川市立中学校教科用図書選定検討委員会 検討の経緯

1 組織

名称：立川市立中学校教科用図書選定検討委員会

設置根拠：立川市立中学校教科用図書選定検討委員会要綱

構成：「平成30年度（31年度使用）立川市立中学校教科用図書選定検討委員 名簿」のとおり

2 選定・検討の経緯

平成30年3月8日 教育委員会にて「立川市立中学校使用教科用図書採択の基本方針」が決定

平成30年5月14日 教科用図書選定検討委員委嘱状交付式・説明会
→ 教科用図書調査研究調査研究部会の設置、部会員への委嘱状交付

平成30年5月22日～ 教科用図書調査研究部会の開催
平成30年6月12日 → 部会を3回開催し、「調査書」等を選定検討委員会委員長へ提出

平成30年6月26日 教科用図書選定検討委員会（第1回）
→ 委員会の進行方法の決定、教科用図書調査研究部会からの調査書等を検討
（検討教科：特別の教科 道徳）

平成30年7月17日 教科用図書選定検討委員会（第2回）
→ 教科用図書調査研究部会からの調査書等を検討
（検討教科：特別の教科 道徳）
教育委員会への「報告書等」にかかる記載事項の最終確認

3 対象とした教科及び発行者

教科名	発行者数	発行者
特別の教科 道徳	8者	東京書籍 学校図書 教育出版 光村図書出版 日本文教出版 学研教育みらい 廣済堂あかつき 日本教科書



平成 30 年 7 月 23 日

立川市教育委員会

教育長 小町 邦彦 様

立川市立中学校教科用図書選定検討委員会

委員長 立川市立立川第八中学校長 川崎 達也

立川市立中学校教科用図書選定検討委員会報告書

標記の件につきまして、立川市立中学校教科用図書選定検討委員会要綱第 2 条の規定に基づき、検討作業の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 第 1 回選定検討委員会

- (1) 日 時 平成 30 年 6 月 26 日 (火) 15 時 00 分 から 17 時 00 分
- (2) 場 所 立川市役所 104 会議室
- (3) 出席者 委員長、副委員長、委員 6 名 (合計 8 名 欠席 0 名)
- (4) 内 容
 - ① 委員会の進行について
 - ② 部会報告および調査書の検討 (特別の教科 道徳)
 - ③ 選定検討委員会報告書の作成

2. 第 2 回選定検討委員会

- (1) 日 時 平成 30 年 7 月 17 日 (火) 15 時 00 分 から 17 時 50 分
- (2) 場 所 立川市役所 205 会議室
- (3) 出席者 委員長、副委員長、委員 6 名 (合計 8 名 欠席 0 名)
- (4) 内 容
 - ① 部会報告および調査書の検討 (特別の教科 道徳)
 - ② 選定検討委員会報告書の作成
 - ③ 選定検討委員会報告書の確認

【提出書類】

- (1) 立川市立中学校教科用図書選定検討委員会 検討結果



A 内容の選択 (資料の新鮮度、内容のおさえ方、学習活動の多様性、個人差及び地域差への配慮)

東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版
<p>【資料の新鮮度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最近の出来事や話題の人を教材に取りあげている 付録の「心情円」と表が使いやすい <p>【内容の押さえ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ問題を様々な視点から考え、価値判断に迫ることができる いじめ問題に関して、対応ユニットと生命尊重ユニットがあり、問題解決的に考えることができる <p>【学習活動の多様性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「つぶやき欄」があり、生徒が自分の考えをメモすることができ、それが生徒同士の話し合い活動に繋がる 偏り無く、様々なジャンルの資料が取り上げられている ロールプレイができる「Action」というページがある <p>【個人差及び地域差への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教育課程で実施するために、積極的に他教科と関連する資料を取り入れている 主題名が表記されており、授業の流れによっては生徒の感じ方の広がりには繋がらない場合がある 	<p>【資料の新鮮度】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの副読本の読み物資料が多い <p>【内容の押さえ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会問題でもある薬物乱用防止についてのテーマも扱っている <p>【学習活動の多様性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びに向かうために」という欄は、三段階の発問形式が多く設定されている <p>【個人差及び地域差への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> 意識して日本各地の様々な題材を取り上げている 学校や友人関係だけでなく、家庭や地域社会との連携を想定した資料が取り上げられている 	<p>【資料の新鮮度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産（富士山）やオリンピック選手などタイムリーな題材を取り上げている 題材に身近に感じる人々を取り上げている <p>【内容の押さえ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生の内容（資料）は、やや平易な傾向がある <p>【学習活動の多様性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年毎に1～2程度、ロールプレイができる構成である 日本国内の様々な地域や、世界中の国々に関わる内容が取り上げられている <p>【個人差及び地域差への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書全体に、用語・表現に細やかな配慮がされている 「あってもよい」「いじり」という表現は、実際にいじめを受けた生徒には配慮を要する表現である 3年生の題材「死刑制度」は、取り上げ方に配慮を要する 	<p>【資料の新鮮度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の内容が昭和～平成前期が中心になっている ポスター、写真などの非連続テキストと連続テキストが結び付けられている <p>【内容の押さえ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元に共通して、課題→道徳的価値を深める問い→自分に引きつける問いという「3つの考える視点」が設定されている <p>【学習活動の多様性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材によって、複数時間で対応するものなど、バラエティに富んだ資料を設定しており多様性がある <p>【個人差及び地域差への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書全体の内容に関して、全国の人権教育専門家による校覧が実施されているため、安心して使用できる 2年生68ページ「いじめ」と「いじり」についてのコラムがあるが、「いじり」＝「人をからかうふるまい」としての定義がされている

日本文教出版	学研教育みらい	廣済堂あかつき	日本教科書
<p>【資料の新鮮度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味・関心をもちやすい作品（含マンガ）を随所に盛り込んでいる イラスト等の挿入画が大きく親しみやすい 現代的課題を取り上げている <p>【内容の押さえ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自分に+1」という発問が設定され、生徒が主体的な学習を進められる工夫がされている <p>【学習活動の多様性】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育やいじめ問題など、中学生が学ぶべき近々の課題が豊富に取り上げられている 同じ内容項目を別の視点から考える設定がある <p>【個人差及び地域差への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚的に見やすいフォントや全体の色使い、また全てにふりがながられている 付録のデジタル教材は、使用の仕方によっては生徒の学習効果を高める 一部地域に偏らず、様々な地域の課題が取り上げられている 	<p>【資料の新鮮度】</p> <ul style="list-style-type: none"> タイムリーな東京オリンピック・パラリンピックの題材が取り上げられている <p>【内容の押さえ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の課題を重点的に取り上げている クローズアップ等、視野を広げたり、自分の事として捉えたりするコーナーがある <p>【学習活動の多様性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きく地球規模で考える内容から、地域や身近な視点で考える内容まで広範囲に取り上げられている <p>【個人差及び地域差への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部地域に偏らず、様々な地域の課題が取り上げられている 社会の一員であるという意識を高めさせ、国を愛する力を養うと同時に、今後の国際化にも対応させている 	<p>【資料の新鮮度】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの副読本で親しんでいる定番の読み物資料が多い 題材に、「身近に感じる人々」の資料は少ない <p>【内容の押さえ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容に深みのある資料（教材）が多く取り上げられている 資料（読み物）の内容が濃く、生徒にしっかりと読ませ、深く考えさせることができる <p>【学習活動の多様性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連教材が「thinking」として掲載されており、生徒の思考の広がりにつながる 「学習の手がかり・発問」が明示されており、生徒の思考や活動が限定される可能性がある 読み物資料が中心である <p>【個人差及び地域差への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連教材が「thinking」として掲載されており、授業で活用しやすい 	<p>【資料の新鮮度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 付録の「ペーパーバード」は、台詞がなくストーリーを自分で考えるのは新鮮に感じる 同じ題材を、1年から3年まで3部作構成で掲載しており、生徒が共感しやすい <p>【内容の押さえ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ問題やキャリア教育の視点など、今日的課題を多く取り上げている <p>【学習活動の多様性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内の偉人を多く取り上げている アクティブ・ラーニングや生徒の話し合い活動に繋がるヒントが少ない <p>【個人差及び地域差への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部地域に偏らず、様々な地域の課題が取り上げられている

B 構成・分量（系統性、関連性、発達段階への配慮、精粗の程度、分量）

東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版
<p>【系統性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・系統性があり、全体に良好である <p>【関連性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【発達段階への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない ・重点項目を繰り返し学習できるように構成されている <p>【精粗の程度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切である（3学年全体で580ページ） 	<p>【系統性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの副読本の傾向が強い <p>【関連性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【発達段階への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【精粗の程度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やや多い（3学年全体で682ページ） 	<p>【系統性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題について、くりかえし学習することができる <p>【関連性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体に多様な題材を取り上げているが、その関連性が薄い <p>【発達段階への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・装丁において、基本的に右ページ始まりで、生徒は区切りが分かり易い ・学年毎に変化を付けて、3年間継続した指導ができる資料がある <p>【精粗の程度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切である（3学年全体で563ページ） 	<p>【系統性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に「生命の尊さ」を重要視しており、系統・継続的に使用できる資料が毎学年3本取り上げられている <p>【関連性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を4つのシーズンに分け、それに教材ユニットが設定されており、関連項目が有機的に結び付いている <p>【発達段階への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日的課題であるいじめ問題や情報過多によるトラブルなどを扱い、配慮がされている <p>【精粗の程度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やや多い（3学年全体で695ページ）

日本文教出版	学研教育みらい	廣済堂あかつき	日本教科書
<p>【系統性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題・命の尊さ・勤労意欲の重要性など、学年毎にテーマをもち、系統的に思考を深めることができる工夫が見られる <p>【関連性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・学校・社会にバランス良く関連性をもたせている題材を取り上げている <p>【発達段階への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け配慮の「巻頭のメッセージ」はある ・内容項目以外に関してもテーマ毎に資料を掲載している <p>【精粗の程度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切である（3学年全体で594ページ）＋別冊126ページ 	<p>【系統性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じような題材をまとめてあり、テーマ毎の学習予定が立てやすい <p>【関連性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つのテーマで複数の教材を関連させており、関連付けがし易い（ユニット教材） ・各資料のナンバー下にカラーラインが引かれており、テーマの確認がしやすい <p>【発達段階への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の「クローズアップ」の欄で、再度振り返って学習のまとめができる <p>【精粗の程度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切である（3学年全体で554ページ） 	<p>【系統性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【関連性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない <p>【発達段階への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた配慮がみられる <p>【精粗の程度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトルの文字がやや小さい ・見開きに他の教材が入ってしまっているため、生徒の意識が散漫になる可能性がある ・見開きに別の教材（thinkingなど）が入っている <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切である（3学年全体で516ページ）＋別冊204ページ ・道徳ノートは内容も充実しているが、教科書と別課題で議論の時間・記載時間の確保には工夫が必要である 	<p>【系統性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特段の問題はない ・1、2、3年と同じ登場人物資料を掲載している <p>【関連性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科と繋がる内容・項目が、全体にバランス良く取り上げられている <p>【発達段階への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階を踏まえた構成になっている ・主題名・発問が明記されており、教師が内容項目の扱いを工夫することができる ・見開きに他の教材が入ってしまっているため、生徒の意識が散漫になる可能性がある <p>【精粗の程度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真が大きすぎ、その影響で文字が自体が小さくなったり、行間・文字間が詰まる傾向が見られる <p>【分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切である（3学年全体で582ページ）

D 使用上の便宜 (自主的・積極的学習、全体の内容構成)

東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版
<p>【自主的・積極的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 付録に「心情円」があることで、生徒自身が進んで話し合いに参加することができ、発言を苦手とする生徒にも有効である 生徒が自主的かつ積極的に取り組める形式である。特に「自分の学びを振り返ろう」の欄で、学期末に自分自身を振り返ることができる 付録にホワイトボードマーカーで記入できる部分がある <p>【全体の内容構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年間で学ぶべきことが一覧で明記されており、学習の見通しがもちやすい 「話し合いの手引き」「道徳の授業はこんな時間に」の欄があることで、授業のオリエンテーションができ、教師と生徒が授業について共通理解ができる 	<p>【自主的・積極的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒がまとめを記録するページや、自己を振り返る記録欄がある 生徒同士の意見交換を学習に取り入れ、多様な考えに触れる機会を設定している 全教材に生徒の意見交換を指示する発問が用意されている <p>【全体の内容構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材毎に、気付いたことなどを記入する欄あり 	<p>【自主的・積極的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」等の欄が活用でき、考えを深められる <p>【全体の内容構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末に「都道府県に関わりある人物」の掲載がある 巻末にどんな自分になりたいかを記入する欄がある 各教材の冒頭に「導入」、最後に「学びの道しるべ」(発問)が設定されている 	<p>【自主的・積極的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科毎に「学びのテーマ」の欄があり、考え方が示されている <p>【全体の内容構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助資料として、コラムやマンガの活用されている 生徒自身が書込むページが設定されている 本出版社独特の4つのシーズン分け、シーズン毎の振り返り記入欄が設けられている

日本文教出版	学研教育みらい	廣済堂あかつき	日本教科書
<p>【自主的・積極的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自分に+1」という発問を設け、生徒の積極的な学びを促している <p>【全体の内容構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年から3年次まで課題を繰り返し学べる 「学習の進め方」では、ロールプレイの仕方が詳しく記載されている 道徳ノート(別冊)があり、生徒が教材毎に「振り返り」、「自己評価」の記入が可能 	<p>【自主的・積極的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを記入できるページがある 内容項目の記載がないため、自分で問題(テーマ)を考え出すことができる 「クローズアップ」、「クローズアッププラス」を設け内容補充の項目が掲載されている <p>【全体の内容構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「My Profile」という、自分を見つめ記載する欄がある 	<p>【自主的・積極的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の自主的学習を導く、「考える・話し合う」「考えを広げる・深める」が設定されている 「thinking」を設け内容補充の項目を掲載している 道徳ノートの活用には、工夫が必要である <p>【全体の内容構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「道徳の時間とは」があり、道徳の時間の大切さを考えることができる 	<p>【自主的・積極的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教材毎に、考え、議論する発問がある 巻末に1年間を振り返る自己評価記入欄がある <p>【全体の内容構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容項目毎にまとめた構成になっている

E その他特記事項

東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版
<ul style="list-style-type: none"> • 教科書サイズ → 縦：B5 横：A4 • ページ数 → 3学年全体で580ページ（再掲） • 振り返しシート → 有り • 特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書サイズ → 縦：B5 横：A4 • ページ数 → 3学年全体で682ページ（再掲） • 振り返しシート → 無し • 内容項目のマークがタイトルの中に明記されている 	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書サイズ → 縦：B5 横：B5 • ページ数 → 3学年全体で563ページ（再掲） • 振り返しシート → 無し • 巻末で道徳の学びを記録できる また、「どんな上級生になりたいか」を記入する欄がある 	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書サイズ → 縦：B5 横：B5 • ページ数 → 3学年全体で695ページ（再掲） • 振り返しシート → 有り • サイズがコンパクトだが、ページ数は多い • 資料の形態が様々である

日本文教出版	学研教育みらい	廣済堂あかつき	日本教科書
<ul style="list-style-type: none"> • 教科書サイズ → 縦：B5 横：B5 • ページ数 → 3学年全体で594ページ+別冊126ページ（再掲） • 振り返しシート → 無し • 別冊「道徳ノート」が付いている 	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書サイズ → 縦：A4 横：A4 • ページ数 → 3学年全体で554ページ（再掲） • 振り返しシート → 無し • サイズが大きい 	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書サイズ → 縦：A4 横：B5 横長である • ページ数 → 3学年全体で516ページ+別冊204ページ（再掲） • 振り返しシート → 無し • 別冊「道徳ノート」が付いている • 道徳ノートの最後にある「自分を振り返って」（振り返しシート）は、生徒自身が授業のねらいを理解できたかを知るのに役立つ • 道徳ノート（振り返しシート）は、授業のねらいを理解できたか否かを確認するのに有効である 	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書サイズ → 縦：B5 横：B5 • ページ数 → 3学年全体で582ページ（再掲） • 振り返しシート → 無し • 特記事項なし